

豊かな肉量と高い4・5率を誇る気高系種雄牛「藤平茂」を選抜

[要約]

気高系種雄牛「藤平茂」が肉質等級4・5率77.8%と高い値を示し、脂肪交雑（BMSNo.）6.3に加え、枝肉重量460.2kg、口-ス芯面積52.1cm²、バラ厚8.2cmで肉質・肉量とも良好な成績を示した。脂肪交雑（BMS）の育種価は3位で県有牛では「寿恵福」に次ぐ高い値であった。

畜産試験場（肉用牛改良部）

連絡先

0974-76-1217

[背景・ねらい]

大分県の肉用牛改良に大きく貢献した系福を中心とする系系雌牛が多く飼養されている中で、これらの系系繁殖雌牛等に授精しやすい気高系種雄牛の産肉能力をフィールドにおいて検定し選抜した。

[成果の内容・特徴]

1 検定期間及び検定材料牛頭数

- 1) 平成15年4月12日～平成16年12月19日
- 2) 18頭（去勢牛12頭、雌牛6頭）

2 検定施設

3施設（畜産試験場、（有）ウエストファーム、（株）北九州ジエイ畜産）

3 検定成績

出荷月齢27.5ヶ月齢、出荷体重727.3kg、DG0.80kg、口-ス芯面積52.1cm²、バラの厚さ8.2cm、皮下脂肪の厚さ3.4cm、脂肪交雑（BMSNo.）6.3で、肉質等級の4・5率は去勢牛83.3%、雌牛66.7%、全頭77.8%と肉量、肉質とも好成績であった。

4 育種価評価

検定材料牛以外の5頭を加えた23頭での評価結果は評価した836頭の種雄牛（県外種雄牛を含む）中BMSNo.で836頭中3位と県有牛では寿恵福（1位）に次ぐ高い値を示した。

5 藤平茂の血統及び交配

父「平茂勝」、母「まささかえ」、母の父「初藤」、祖母の父「清勇」で、県内に最も多い系系の雌牛に交配可能である。

[普及対象]

県下の肉用牛農家及び畜産技術者

[成果の活用面・留意点]

産子において発育・体型は良好のため、平成19年に開催される第9回全国和牛能力共進会の出品が予定されている。

[関連デ - タ]

表1 検定成績(発育状況)

項目	検定開始体重 (kg)	出荷月齢 (ヶ月)	出荷体重 (kg)	肥育日数 (日)	と前体重 (kg)	DG (kg)
全頭平均	248.0	27.5	727.3	603.2	699.4	0.80
去勢牛平均	259.9	27.5	741.2	599.8	709.9	0.80
雌牛平均	224.2	27.6	699.5	610.0	678.3	0.78

表2 検定成績(枝肉格付)

項目	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (kg)	皮下脂肪 の厚さ (kg)	歩留 基準値 (%)	脂肪交雑
全頭平均	460.2	52.1	8.2	3.4	72.9	6.3
去勢牛平均	468.4	50.6	8.2	3.6	72.3	6.5
雌牛平均	443.8	55.0	8.4	3.0	73.9	5.8
全国平均	443.1	52.7	7.5	2.4	73.6	5.3

(注)全国平均は平成14年度全国和牛登録協会調べ

表3 検定成績(歩留等級別割合)

歩留等級	A (%)	B (%)	C (%)
全頭平均	72.2	27.8	0
去勢牛平均	58.3	41.7	0
雌牛平均	100.0	0	0

表4 検定成績(肉質等級別割合)

肉質等級	1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	5 (%)	4・5率 (%)
全頭平均	0	0	22.2	50.0	27.8	77.8
去勢牛平均	0	0	16.7	50.0	33.3	83.3
雌牛平均	0	0	33.3	50.0	16.7	66.7